

Vol. 12

2010.9
September

Pecco

県立図書館の情報をちょこっと発信！ご自由にお持ち帰りください♪

発行

岩手県立図書館

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

TEL 019-606-1730 FAX 019-606-1731

HP <http://www.library.pref.iwate.jp/>

E-Mail homepage@library.pref.iwate.jp

特集

七めちゃんがゆく!

図書館探検記 その1

～臨時休館～



図書館の案内などのお手伝いを主な業務とし、癒しの存在として館内のあらゆるところにそっといる。

県立図書館では、業務システムと機器の更新のため、**10月18日から31日まで**休館します。今回の休館中に、どのような作業が行われるのか、「そめちゃん」が「イワオ」に聞いてみました。



知りたいことがいっぱい小学生、「知りたいのそめちゃん」。図書館と読書が大好きな元気な女の子。



Q1 長いお休みになるんだね。まず、業務システムって何?



A1 貸出・返却、資料検索、新着資料の登録といった、図書館業務の中心に関わるコンピュータシステムのことだよ。今回はシステムで使っている機械とソフトを更新するんだ。



Q2 更新すると何がかわるの?



A2 館内の蔵書検索機とホームページの検索画面が変更になるよ。ホームページでは利用状況の確認もできるようになるんだ。



Q3 どうして2週間もがかるの?



A3 実は、約80万件ある資料データを、新しいデータに書き換える上書きという作業もするんだよ。いろんな検索に対応できるように、より詳しい内容の資料データにするんだ。旧漢字での検索もできるのがいい例かな。



Q4 上書きって、1件ずつ!?



A4 そうなんだ。9月24日から準備を始めるんだけど、それでも2週間かかってしまうんだよ。あ、そうそう、休館中はホームページも見られないから気を付けてね。



Q5 残念だなあ……。じゃあ、たくさん借りておこうかな。



A5 ありがとう。本の返却は休館中もブックポストで受け付けるよ。各コーナーでミニ展示を行っているから、借りるときの参考にしな。11月1日からは新しいシステムで始めることができるのでそれまで待っていてね。

COLUMN



「わたしも頑張らなくっちゃ」

岩手県立図書館 こばやし ぜこう

総括責任者 小林是綱

金田一京助はアイヌ語研究の大家。国語辞典編纂など、こつこつと資料を集め分析し集大成ができる努力型でないといけない偉業です。

今から12年ほど前のことですが、私は山梨県の大泉村(現北杜市)に金田一春彦記念図書館を造らさせていただきました。そう、京助先生のご長男で、日本語アクセント研究の大家で、辞典の編纂も多く手がけた学者です。

ある日、先生が図書館の一角で調べ物をしていると、小学生が勉強をしていました。気さくな先生は坊やに「将来、どんな仕事をしたいの?」と質問したそうです。坊やは金田一先生とは知らずに「国語学者になりたいです」と。先生はそれを聞いて、細い眼をさらに細めて「わたしも頑張らなくっちゃ」と……。

努力の人の子は、努力の人ですね。

岩手は著名な方を数多く輩出している県です。一説によれば、原敬が総理大臣になったのは、「旧南部藩士は中央において薩長出身の官吏などに虐げられていたので克己の念から努力してのし上がっていったのだ」とか。

とまれ、岩手県の偉人は天才と努力の人に分れます。賢治や啄木は天才、金田一京助は努力の人と私にはおもえます。

企画展

歴史探訪(弐) 一 九戸の乱を中心に一

期 間：9月26日(日)まで
会 場：4階展示コーナー
昨年の企画展「歴史探訪 一奥州をめぐる人々」に続く時代として、秀吉の国内統一の背景にあった「九戸の乱」を中心に、中世の岩手の歴史を紹介します。

イベント案内

おはなし会	9月	10月	11月
おはなし☆すてーしょん 14:00～(日曜日)	5日	3日	7日
手づくりかみしばい 14:30～(土曜日)	11日	9日	13日
おはなし☆すてーしょん 10:30～(日曜日)	19日	17日	21日
ファミリーおはなし会 14:30～(日曜日)	26日	11日 (月・祝)	28日

映画会

	9月	10月	11月
一般	13:30～ (日・月曜日)	12・13日 26・27日	10・11日 (祝)
子ども	11:00～ (日曜日)	12日 26日	10日 28日

休館日

9月	10月	11月
30 (木)	18～31 (日)	30 (火)

第29回 企画展 啄木資料展

期間：10月8日(金)～11月29日(月)
会場：4階展示コーナー

今年は、1910年に『一握の砂』が刊行されてから100周年。当館が過去2年で新たに収集した石川啄木関係資料を一堂に展示します。また、啄木と特に親交の深かった金田一京助を取り上げたテーマ展示も行います。

おすすめ郷土資料

2010年5月～7月分

子どもの本の道案内 ブックリスト



盛岡児童文学研究会 編集・出版

創立40周年を迎えた盛岡児童文学研究会が、毎月開催の「読む会」で取り上げた本の中から評価が高かったものを紹介しています。1996年、1998年の発行に続く改訂3版です。

宮沢賢治 愛のうた

澤口 たまみ 著

盛岡出版コミュニティ 出版



「宮沢賢治は、年譜には載っていない恋をしていた。」詩集『春と修羅』に封じ込められた賢治の恋を、賢治と同じく岩手で農学を志した著者が、さまざまな角度から読み解きます。

しずくいしの小さな伝記

奥山 淳志 写真・文／雫石町 出版

宮沢賢治の童話や詩の舞台にあこがれ雫石町に移住した、フリーカメラマンでライターの奥山淳志氏による写文集。写真と短い言葉で綴る、同氏の作品「小さな伝記」シリーズのしずくいし版です。



復刻幻の藤原ノート

「ゴッチ教室」の神髄

藤原 喜明 著／講談社 出版

直筆描き下ろしイラストによって、30年の時を越えて伝説の“関節技の聖典”を完全再生。門外不出の秘伝も全公開＆徹底解説。秘蔵アルバムで藤原喜明の“関節技の鬼”への軌跡をたどります。



新世界透明標本

富田 伊織 作／小学館 出版

大船渡市で漁師を目指す富田伊織氏による写真集。そのたたずまいは、生物でありながらまるでガラス細工のような美しさ。特殊な薬品で骨が染められ筋肉が透明になった魚類や甲殻類などの標本たちが清涼感、浮遊感とともに迫ります。

